

# 大阪市営交通、 コミュニティ交通を 市民の「交通権」 から考える



## 第3期「よみがえれ大阪」市民講座 ②

橋下知事を党首とする「大阪維新の会」は、先日発表したマニフェストの中で「地下鉄市バスの民営化」を掲げました。前回市長選挙で決着のついた問題を、まともな検討もなくマニフェストに掲げるなど見識を問わざるを得ません。

地下鉄・市バスは、市バスへの財政援助を含めても黒字であり、大切な大阪市民の財産です。これを大規模開発の財源とするために売り払うなど、許せるはずがありません。また、「赤バス」についても、連絡会の取り組みの中で、福祉施策としての存在意義も明らかになってきました。

今回は、公共交通問題に詳しい立命館大学の土居先生を講師に、公共交通政策のあり方について学習します。選挙の大きな争点となりますので、ぜひご参加ください。

### ◇講師 **土居 靖範さん**(立命館大学経営学部教授)

専攻は交通政策論。主な著書に『交通政策の未来戦略—まちづくりと交通権保障とで脱「クルマ社会」の実現を—』(文理閣)、『生活交通再生—住みつづけるための“元気な足”を確保する—』(自治体研究社)

### ◇日時 **3月9日(水)午後6時30分～**

### ◇会場 **大阪グリーン会館 2F ホール**

## 主催 **大阪市をよくする会**

大阪市北区天神橋1-13-15 ☎6357-6139

協賛：赤バスの存続を求める市民連絡会